

松尾スズキ・リアルワークプロジェクト

「松尾スズキ・リアルワークプロジェクト」は作家・演出家・俳優・大人計画主宰・シアターコクーン芸術監督である松尾スズキ教授と共に舞台芸術作品を考察するプロジェクト。学科を越え全学から学生を選抜(10~15名)募集する。

2025年度の授業では松尾氏の作品『悪霊～下女の恋～』を題材に「演出論」「作劇論」「演技論」など舞台芸術に纏わる様々な方法論を松尾氏が4名の俳優に実際に演出する過程を見る(体験することにより、思考力・発想力がいかに作品(クリエイティブ)に繋がっていくのか、またそのため必要な構想力・行動力を身につける。

プロフィール

松尾スズキ

1962年、福岡県生まれ。1988年に大人計画を旗揚げし、多数の作品で作・演出・出演を務める。1997年「ファンキー！～宇宙は見える所までしかない～」で第41回岸田國士戯曲賞、2008年映画「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」で第31回日本アカデミー賞最優秀脚本賞を受賞。小説「クワイエットルームにようこそ」「老人賭博」「もう『はい』としか言えない」が芥川賞候補になるなど、作家としても活躍。2019年に上演した「命、ギガ長ス」で第71回読売文学賞戯曲・シナリオ賞を受賞。2020年にBunkamura シアターコクーンの芸術監督、2023年に京都芸術大学舞台芸術研究センター教授に就任。2024年からコクーンアクターズスタジオの主任を務める。



在学生：3月26日～3月28日17:00まで

新入生：4月3日～4月4日17:00まで

ともにエントリーフォームよりエントリー

- 単位認定 あり (自由選択科目:準正課科目)
- 履修対象 全学科・全学年
- 担当教員 松尾スズキ、安藤善隆
- プロジェクトの特徴(経験できること、身に付く力)
 - クリエーターの創作手法を深く学ぶことにより発想力・思考力を身に付ける。
 - 舞台芸術に対して批評的な視点を持ち自己の見解を述べ、表現力・構想力・行動力を身に付け、社会への第一歩と位置付ける。
- 定員 15名程度(応募者多数の場合は選考)
- 活動日 夏季集中授業

□ スケジュール(概要) * 予定は変更になることがあります。

日時	内容
<p><新2年生～4年生> 3月28日(金)17時 3月28日(金)～4月2日(水) 4月4日(金) 4月4日(金)～7日(月)</p>	<p>募集締切 エントリーシート選考(応募者多数の場合)、結果・面接日程通知 面接 結果通知</p>
<p><新入生> 4月4日(金)17時 4月4日(金)～7日(月) 4月8日(火)・9日(水) 4月9日(水)・10日(木)</p>	<p>募集締切 エントリーシート選考(応募者多数の場合)、結果・面接日程通知 面接 結果通知</p>
<p><夏季集中講義> 8月18日(月) 8月19日(火) 8月20日(水) 8月21日(木) 8月22日(金)</p>	<p>・13:40～15:20 ・15:40～17:20 ・11:00～12:40 ・13:40～15:20 ・15:40～17:20 ・11:00～12:40 ・13:40～15:20 ・15:40～17:20 ・11:00～12:40 ・13:40～15:20 ・15:40～17:20 ・11:00～12:40 ・13:40～15:20 ・15:40～17:20</p>

□ 授業進行(予定)

<イントロダクション>

23年度PJ発表公演『命、ギガ長スzzz』
 24年度PJ発表公演『ない』映像使用授業

<ステップ1>

『悪霊～下女の恋～』(1997年、2001年、2013年)の映像使用授業
 * 以後も随時使用

<ステップ2>

『悪霊～下女の恋～』について、参加スタッフ(出演者4名)に松尾教授が演出
 各自、舞台芸術に関する方法論を学び、思考力・発想力を養う

<ステップ3>

授業内で各自が学んだことについて発表・ディスカッション

※授業内容については、変更になる可能性があります。

□ 応募にあたっての注意事項

参加学生は、授業を振り返る簡単なレポートを作成いたします。

授業の進捗に合わせ、自分に必要なリサーチや、作業を欠かさないよう心掛けてください。

テキスト・参考文献は随時提示します。

応募者多数の場合は、一次選考(エントリーシート)を設け、二次選考(面接)の内容を考慮し、メンバーを決定いたします。

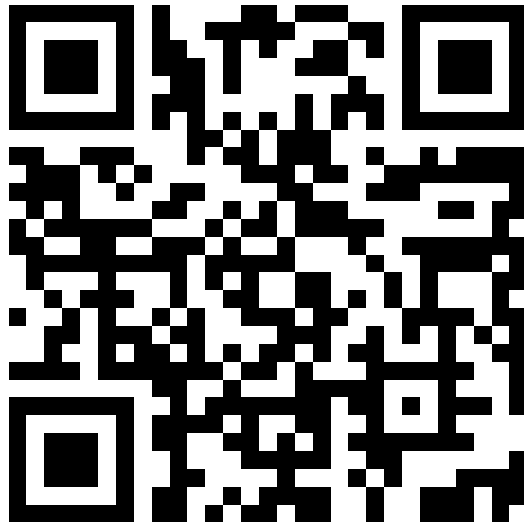
□ 応募方法

下記リンク、もしくはQRコードのリンク先のエントリーフォームからエントリーをしてください。

※応募者多数の場合はエントリーシートの内容もふまえ担当教員と面談し、メンバーを決定します。

【エントリーフォーム】

<https://forms.gle/qAhDmPk2hHzqjT329>



□ 問合せ先(応募先ではありません): 芸術教養センター(プロジェクト担当)project@office.kyoto-art.ac.jp